

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 プライマルレイジ ファイブイヤールー アニバーサリー	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.550	△RG 0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール： PRIMAL RAGE 5 YEAR ANNIVERSARY

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

番

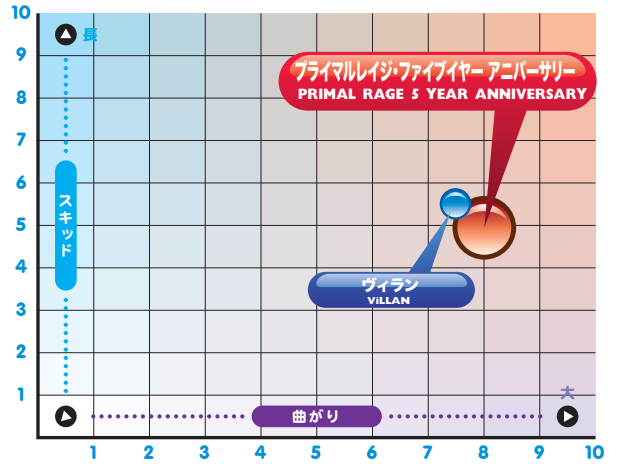
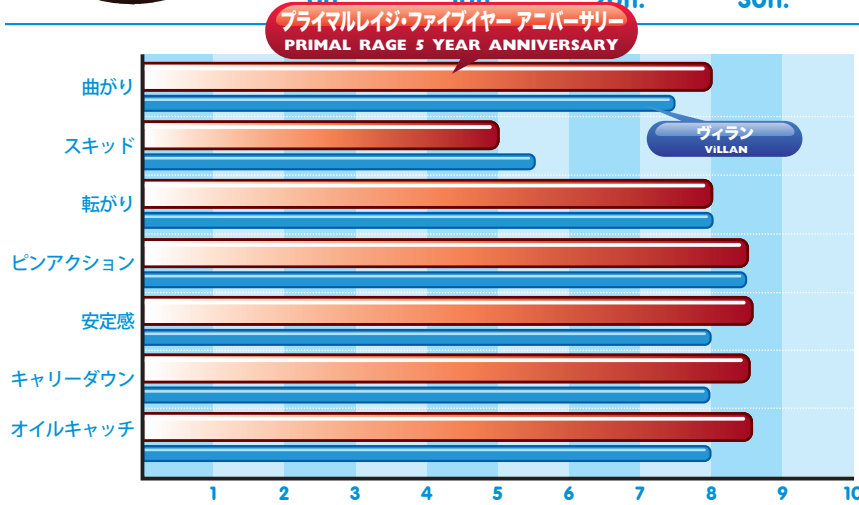
比較対照ボール： ViLLAN

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

番



ボールの評価

MOTIV社のプライマルレイジ。2013年8月この先”伝説”と称されるFusion Pearl Reactiveを搭載し、独特な構造で一目Rage信条のくい込むバックエンドリアクションからは想像もつかないImpulse V2 Core。

今回限定販売されるこのPrimal Rage 5 Year ANNIVERSARYは、現行のFusion カバーストックとMOTIVの新しいHexionテクノロジーを融合させたFusion HX Pearlカバーストックからなる、Primal Rageでもオイルに対しての強さを上げて、スキッドレベルを保つ”1ランク上”の性能に仕上がっています。

ロゴのマーキングさえ違えど、配色はレッドパールで2013年のPrimal Rageを思い出します。ここ最近のMOTIV社のボールの特徴として5000 Glit LSPという2番目に細かいポリッシュ可能をBox Finish(箱出し加工)としてしているところ。Box Finishが細かければ細かいほどスキッドレベルは上がり、オイルに対して左右されることが多くなるでしょう。それでもMOTIV社は絶対の自信のもとに細かいFinishでもミディアムヘビー対応のボールとして発売しています。よほどカバーストックのキャッチ力の自信の表れでしょう。そのパフォーマンスはしっかりとPrimal Rage 5 Year ANNIVERSARYにできています。当時のPrimal Rageと比較投球はできませんが、曲りの特徴として現行のFusionカバーストックよりもやや早めにブレーキがかかり減速しているように感じます。光沢がある仕上げではありますが、オイルゾーンを抜けてやや薄めのオイルにはブレーキのかかりの強さを感じますし、ドライエリアでのグリップ力はかなり高いと言えます。

私の想像するに、MOTIV社はPrimal Rageが発売されてから5年という歳月が進んだが、Fusionという伝説のカバーストックからここまでカバーストックは進化したというのも証明したいのではないかと思います。世界を彷彿させたPrimal RageをMOTIV社のテクノロジーを融合させたボールがPrimal Rage 5 Year ANNIVERSARY。限定発売ですのでお早めにお求めください。

特記事項

今尚皆さんが求めていたPrimal Rageが現代のカバーストックを纏い復活。先での動きはRageを彷彿させます。是非この機会にお試ください。